

①地域の活力・魅力向上のための「投資」（主な検討施策）

1. 鉄軌道のサービスレベル向上に対する投資

- 鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化
- 快適性・環境性の向上のための鉄道車両等の導入
- キャッシュレス決済（交通系ICカード等）の導入
- サービスを支える担い手の確保・育成（働きやすい・働き続けられる環境の整備等）

3. 地域内のモビリティサービス（バス・タクシー・新モビリティサービス）に対する投資

- 新たなサービスの立上げに向けた地域主体の取り組みの推進
 - 〔・路線バスやタクシーとの連携・一体的な利用促進など「地域交通ネットワークの目指すべき姿」に則った取り組みへの重点的な投資〕
- サービスを支える担い手の確保・育成（働きやすい・働き続けられる環境整備と利便性向上の両立等）

2. まちづくりと連携した駅の機能強化に対する投資

- 市町村のまちづくりの拠点となる駅の交通結節機能の強化
 - 〔・運行情報等の案内の充実〕
 - 〔・パーク&ライド、サイクル&ライドの整備〕
 - 〔・拠点駅へのアクセス等の改善〕
 等
- 市町村のまちづくりの拠点となる駅の空間を活用した地域拠点機能の強化
- 駅施設のバリアフリー化

4. ネットワーク内の移動・交流の創出に対する投資

- MaaSの充実
 - 〔・地域の新たな魅力発見につながる乗車券・クーポン〕
 - 〔・県民生活への普及に向けた新たな機能等の検討〕
 等
- とやまロケーションシステムの充実・利活用
 - 〔・リアルタイム運行情報等へのアクセス改善〕
 - 〔・とやまロケのデータを活用した路線バスのダイヤの最適化〕
 等
- 地域交通に関するデータ連携基盤の構築の検討

※投資効率を上げるため、国の支援等も有効に活用。

※交通事業者は、安全を確保した上で、投資や参画の効果向上に資するダイヤ改善（乗継時間の短縮等）など地域と連携した利便性向上等に継続的に取り組む。（自治体も関与し、事業者間の連携体制を構築）

②地域の活力・魅力向上のための「参画」（主な検討施策）

1. 利用者としての参画

○公共交通を中心としたライフスタイルへの転換

- ・ 地域交通を利用する多面的なメリットの理解
- ・ 免許返納の機をとらえた地域内のモビリティサービスの利用
- ・ 時差出勤の導入・活用によるラッシュ時間帯の利用分散
- ・ その他通勤・通学等における積極的な利用

等

3. 沿線まちづくりとしての参画

○地域の拠点としての駅的位置付け（立地適正化計画等、市町村のまちづくり計画での位置付け）

○駅周辺への施設・事業所の立地等、地域交通を中心としたまちづくり

○拠点駅の駅空間等を活用した事業活動・社会活動

○地域の魅力向上につながる駅設備・車両のデザイン性向上（ラッピング等）

2. 支え手・担い手としての参画

○地域交通の支え手としての積極的な参画

- ・ 公共サービスである地域交通の支え手としての参画に向けた意識啓発
- ・ 地域主体による地域内の新たな移動サービスの立上げ・運用
- ・ 沿線企業・店舗等のスポンサーとしての積極的な参画（最寄り駅やバス停のネーミングライツ・待合環境の改善、地域の広告塔としての地域交通の活用等）

等

4. 地域交通サービスとの連携等を通じた参画

○各文化・商業施設や観光地等における地域交通の運行情報等の案内

○沿線地域の関係者と連携したMaaSアプリにおける新たなデジタル乗車券の企画・販売

○各地域のイベントと連携した地域交通の利用促進

○地域交通サービスによる観光客の移動環境の整備

○その他、他分野・他業種と地域交通サービスの連携の検討